参加者Participate	
国嘉こか、萩原慶子、真殿紘輔、泉美帆、Channa Anandagoda、Nualpan Kunakornpaiboonsiri	
Zhang Mengdi、芦村夢樹、石井泰乃、鬼塚亮輔、樹下有斗、吉田聖嵩、	
篠崎課長、HSIUNG Hann shiuh	

				篠崎課長、HSIUNG Hann shiuh (敬称略)
Start	Time	F.,	From the state of	Participant&Minutes
11:00	t -	Free talk From APU	Free participation APU Alumni	1.前回のボードミーティングからの進捗(ショーンさん)
			association secretariat	①APUバスターミナルサイネージの動画:吉田さん、萩原さん、真殿さんからキャリアについての動画を頂き、放映中。他の卒業生からも頂く予定。
				②オリエンテーション:9月27日開催。真殿さん、マンディーさん、Loop.A.S.のメンバーが参加。会費の重要性についても説明し
				てもらう予定。 3入学式:9人のチャプターリーダーからのメッセージをいただき、入学式で配信された。
				④卒業式:半年前に作成したIDMの動画を配信。学位記の送付と共に記念品のペーパークラフトをお送りしているペーパークラフ
				トは、APUのA棟B棟。作成後撮影した写真を校友会に送ってもらい、FBへ掲載する予定。狙いは、FBとHPの誘導。
				2.セミナーお知らせ 10月7日に寺田拓真氏(春セメRCAPS特別研究員)によるセミナーの案内 3.long life learning について(ショーンさん・篠﨑課長)
				チャレンジデザインの重要課題の一つとして、大学から校友への教育プログラムの提供する仕組みを計画。2021年はテストプログラ
				ムとしてビジネス系をテーマに数回開催する予定。第1回は、9月18日にMBAをテーマに行った。⇒15人の参加今後この企画を
				行っていくうえで、ボードから意見が欲しい。 ボードからの意見として
				・ビジネスから得られた経験を共有できる場があるのであれば参加したい。何かできることがあれば、協力します。
				・アジアのトレンド、ビジネスケースを学びたい。⇒日本のトピックだと他の大学でも学べるので、APUの得意とする領域のもの、APU
				でしか学べないもの学びたい。 ・アウトプットについて単発として終わらせてほしくない⇒コンテンツとしてストックしていつもで聞けるようにしてほしい。
				4.校友会の20周年企画について(篠﨑課長)
				APUとしては2023年に新学部設立、APS,APMなど大学全体の教育改革を行っていく予定。大学全体が生まれ変わるような改革に取り組んでいる。校友会として何かする意思があれば、バックアップしたいと考えている。
				ボードチーム⇒プロジェクトチームを検討します
11:15	40	Task force-	Onizuka	これまでにやっていきた <i>こ</i> と
		Finance	Omzuka	・新しい財政方針について事務局へ説明⇒(事務局からは)具体的に実施にやるとするとなるとどうするのかそれをクリアにしてiか
				なければいけない
				・福岡大分関東への説明→異論ない。なぜこれまで国際からとれなかったのか。 代理徴収継続・徴収の仕方について
				国内学生と国際学生の徴収の仕方が違う。2016年以降国内学生は入学金と一緒に振り込みになり、国際学生は入学後に入
				金する仕組み。⇒学費は自動引き落としの為、校友会費は自分で振り込みに行かなければいけない。国際学生からみて校友会 費を支払うメリットがないので支払いをしないのでは。そこを改善する必要がある。収入に関しては、これから代理徴収に加え、各チャ
				プターが会費の徴収をオープンにしたい。
				これからの予算について、ボードが予算の権利を手放し、徴収した会費は各チャプターに配分する方法。
				課題:①APU校友会のミッション・目指すビジョンとの提携②お金を誰に、何を届けるか③安全なお金の流れを作る⇒APU校友 会活動の増加が校友会の魅力UPや収入増加につながる、活動が増えれば、校友会の収入が増えるのが理想。
				どのような活動をやるか⇒セミナー等の参加費用の補助、個人のアイディアを具体化するサポートなど。
				どこにお金を使うかは今後も相談していく。メンバーについては、ボード全員と思っているので、もし他にアイディアがあれば教えてください。
11:55	25	代表交代につ		
		いて	Koka	代表の任期が終わる来年度で代表を交代する。理由としては仕事が忙しくなったので校友会の活動に関わることができなくなってしまったため。現在も4カ月ほどお休みをしていた。
				もっと校友会の活動に熱い方にバトンタッチしたいとのこと。選挙については公平なやり方で行いたい。事務局で選挙実行委員会を
				立ち上げ代表選挙を行っていく。 (ショーンさん)選挙の方法については、前回同様別途定め行う。
				、 選挙実行員会は事務局が立ち上げる⇒実行員のメンバーは、ボード1名、チャプター、グループリーダーから1名募集。候補者は実
				行委員以外のメンバーから立候補を募る。意義がなければ、この方法で行う。ボードメンバーで実行委員をやってもよい方はご連絡 ください。
				・「こんな人にやってもらいたい」という意見をコカさんから提示するのはどうか。 ⇒具体的な人物像があるのはよいかもしれない。
12:20	15			
		Connect with RU	Matono	オール立命館校友大会のお知らせ⇒10/9 10時~12時 APUから企画を行う。参加希望者は(真殿さんに)連絡ください、 後ほど共有します。
12:35	5	alumni Taalofaasa	IX'	
		Task force- plat form	Kinoshita	メンバーは、吉田さん・樹下さん・アンさん(ヨーロッパチャプター)ミーティングは2週間に1回行っている。 説明の動画撮影⇒事前に視聴してもらい、アンケートをとる⇒それを踏まえてリーダーズミーティングでディスカッションを行う
		•		事前資料の中身は1.昨年までの取り組み2.ポロジェクトの概要3.コンテンツ案
				プロジェクトの概要として、オンラインでの校友の交流を増やして自己実現・グローバルファミリーの促進を目指す。スケジュールはリー ダーズミーティングで意見を集約後今年中にはある程度コンテンツを固める。来年3月にはボードミーティングで決裁をし、来年いっぱ
				いで発注先等の選定を行う。2023年4月にはベータ版のローンチ予定。
				コンテンツ案について現在12のアイディアがある
				①イベント・セミナーの開催のプラットフォームのサービス⇒ミートアップのAPU版のイメージイベントを行う場所に住んでいる人に自動的に通知がいく仕組み。②世界を変えるために取り組むことを一つ決めて、それの為に各チャプターがイベントを行う。活動的ではな
				いチャプターが活動しやすいものを決める。③バーチャル空間でコミュニケーションができるツール④キャリア系、仕事の情報をシェアでき
				るプラットフォーム⑤インターンのマッチングサービス⑥メンターのマッチングサービス⑦地域ごとにオンライン上でアンバサダーを配置して。 その地域で何か行うときに連絡を取ったりできるようにする。⑧地域のAPU関係者を見つける⑨各申請をオンライン上でできるサービ
				ス⑩海外のビジネス情報のQAサイト⑪国際交流(国際貢献・国際交流)QAサイト⑫実名制で質問・相談ができるサイト
				アンケートの内容⇒12このアイデアの中でいいと思ったものは?、この言葉いいなと思ったもので何かあれば、こんな機能が欲しい等の質問を行う。
				アンケートの結果を集約・精査して、リーダーズミーティングでディスカッションを行う。新たなアイディアを出すのではなく、今あるものをブ
40.40				ラッシュアップするような内容。
12:40	15	Sharing from (L each team	ディスカッションのグループ分けについては別途相談
		Student	Ishii	Loop.A.S.の直近のイベント9月18日航空業界イベント、10月以降宇佐市役所との合同イベント、10月卒業生とご飯を食べよ
		engafement		う企画。卒業生とご飯を食べよう企画については、今までのキャリアイベントというより、カジュアルな雰囲気のイベントを開催予定。 キャリアの動画について、他のメンバーからも随時募集中です。
		PR	Matono	チャプターリーダーに参加してもらった動画を校友会のYouTubeアカウントを作成してに掲載する予定。
		Global	Hagiwara	(萩原さん)リーダーズミーティング:APU教職員より、リエン副学長が参加予定。村上室長、篠﨑課長、ショーンさんも参加(リ
		Family	Matono	ハも参加) (真殿さん)事前資料として撮影した動画は翻訳を業者へ依頼予定。内容は、大学のAPU2030ビジョンについてわかりやすくま
				とめ、校友会のビジョンに繋がるような説明にしたもの。
		Homepage	Hagiwara	IDMで改修作業中。現在は、応急処置的な対応のため、セキュリティ強化も含め、校友会20周年に向けて新しいHPを作成する
12:55	15			ことを検討中。
13:10	5	Wrap-up	Koka	皆さんのおかげで校友会の活動を続けていけるので、引き続き今後ともよろしくお願いします。